

第37回山形県高等学校新人体育大会空手道競技実施要項

1. 主催 山形県高等学校体育連盟・山形県教育委員会・(公財)山形県スポーツ協会
2. 共催 山形市・山形市教育委員会・山形県空手道連盟
3. 主管 山形県高等学校体育連盟空手道専門部
村山地区高等学校体育連盟
4. 期 日 令和3年11月7日(日) 審判会議 9:00～
監督会議 9:15～
開会 9:30～
競技 9:45～
5. 会 場 山形市総合スポーツセンター第二体育館
山形市落合町1 電話(023)625-2288
6. 競技規定 令和3年度(公財)全日本空手道連盟制定の競技・審判規定に準じて行い、運用については全国高等学校体育連盟空手道専門部競技規定・申し合わせ事項、並びに山形県高等学校体育連盟空手道専門部申し合わせ事項による。
7. 種目並びに出場制限
 - (1) 男子団体組手 (1校チーム正選手5名, 補欠3名)
 - (2) 女子団体組手 (1校チーム正選手5名, 補欠3名)
 - (3) 男子団体形 (1校チーム正選手3名, 補欠3名)
 - (4) 女子団体形 (1校チーム正選手3名, 補欠3名)
 - (5) 男子個人組手 (各校参加者は最大10名までとし、階級の人数制限なし)
 - (6) 女子個人組手 (各校参加者は最大8名までとし、階級の人数制限なし)
 - (7) 男子個人形 (4名)
 - (8) 女子個人形 (4名)
8. 競技方法
 - (1) 組手競技, 形競技ともにトーナメント方式とする。但し, 団体種目について出場チームが5チーム以内の場合はリーグ戦方式を実施する。
 - (2) 団体組手競技・団体形競技において登録された選手の交代は自由であり当該試合前にオーダー用紙を大会本部に提出するものとする。
 - (3) 組手競技において, (公財)全国高等学校体育連盟空手道部制定の安全具(男子5点セット, 女子4点セット)を着用しない者の出場は認めない。メンホーには専用のマウスシールドを装着すること。
 - (4) 個人形競技において1・2回戦は第一指定形及び第2指定形とし、同一形でも異なる形でもよい。
3回戦・(準決勝)以降はそれまで演武した以外の得意形とする。
最低2つ必要。
 - (5) 団体形競技において1・2回戦は第一指定形及び第2指定形とし、同一形でも異なる形でもよい。
3回戦・(準決勝)以降はそれまで演武した以外の得意形とする。
最低2つ必要。
参加校が少なくリーグ戦の場合は、抽選会後顧問会議で形の数を決める。
但し, 第1指定形・第2指定形及び得意形は空手道競技規定(JKF2019年度初版)の「付録7:指定形リスト」並びに「付録8:得意形リスト」から選択しなければならない。
 - (6) 個人種目において登録された選手の交代は認めない。

9. 個人組手の階級については下記の表のとおり。但し、着衣分として0.5kgと計測器測定幅として±0.5kgを考慮した、当日の測定値幅を下記のように定める。

男子個人組手		女子個人組手	
-55Kg級	56.0Kg未満	-48Kg級	49.0Kg未満
-61Kg級	55.0Kg以上 62.0Kg未満	-53Kg級	48.0Kg以上 54.0kg未満
-68Kg級	61.0Kg以上 69.0kg未満	-59Kg級	53.0Kg以上 60.0Kg未満
-76kg級	68.0Kg以上 77.0kg未満	+59Kg級	59.0Kg以上
+76kg級	76.0Kg以上		

男女個人組手に出場する全ての選手は、計量時間内に計量を受け、参加資格確認を受けなければならない。

計量日時 令和3年11月7日(日) 8:10~9:10

※この時間帯であれば何度でも計量できる。

実施場所 男子 本部前 女子 更衣室

服装 計量の服装は、男女ともに上衣はTシャツ(半袖)、下衣はスパッツ(ハーフサイズ)とする。包帯・サポーター等の着用は一切認めない。計測値から0.5Kgを引く。

棄権 この時間で計量を受けず、あらかじめ届け出た階級の体重区分に適していない選手は棄権となり、個人組手出場の権利を失う。(個人組手には出場できないが、その他の種目には出場できる) 体重区分に適していないというのは、規定体重を超えた場合だけでなく、規定体重に達していない場合も含む。(当日は、大会審判員が計量をおこなう)

減量指導 試合に出場を希望する選手は、発育・発達過程にある高校生であることを考慮し、無理な減量をおこなってはいけない。(全国高体連空手道部HP参照)

10. 審判員 全国高等学校体育連盟空手道専門部公認審判員並びに山形県高等学校体育連盟空手道専門部が要請した全空連公認審判員とする。

11. 参加資格 (1)選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒は除く。

(2)選手は各県高等学校体育連盟に加盟している高等学校の生徒で、当該競技専門部に登録し、当該競技要項により、東北選手権大会参加資格を得た者に限る。

(3)年齢は、平成14(2002年)年4月2日以降生まれた者とする。但し、出場は同一競技2までとし、同一学年の出場は1回限りとする。

ただし、特例として中国等帰国生徒については適用しない。

(4)団体は男女別1校1チームとする。チーム編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成チームは認めない。

(5)複数校合同チームの大会参加は認めない。但し、統廃合の対象となる学校については、統廃合完了前の2年間に限り合同チームによる大会参加を認める。

(6)転校・転籍後6ヶ月未満の者の参加は認めない。但し、一家転住などやむを得ない場合は、各地区高等学校体育連盟会長の認可があればこの限りではない。

(7)出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する校長の承認を必要とする。

(8) (公財)全日本空手道連盟の令和3年度の会員登録者であること。

(9)参加資格の特例

ア) 上記(1)(2)に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され各県高等学校体育連盟が推薦した生徒について別途定める規定に従い大会参加を認める。

イ) 上記(3)の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技2回限りとする。

(10) 監督・引率

ア) 引率責任者は、団体の場合は校長が認める当該校の職員とする。個人の場合は校長が認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された部活動指導員(学校教育法施行規則78条の2に示された者)も可とする。但し、部活動指導員に引率を委嘱する校長は、県高体連会長に事前に届ける。

イ) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。

12. 参加料 大会参加料は、1名400円とする。(監督・コーチ・選手)
※参加料は組合せ抽選会時に持参すること。参加料の納入がない申し込みは、正式な申し込みとは認めない。

13. 表彰 各種目とも第3位までとする。

14. 応急処置 出場選手が競技中負傷した場合は応急処置を行うがその他の責任は負わない。

15. その他 健康保険証を持参すること。

16. 申込方法 申込用紙に記入の上、メールで申し込むこと。

(1) 申込締切日 **令和3年10月14日(木) 必着**

(2) 申込先 〒994-0021

天童市大字山元850 天童高等学校内
山形県高体連空手道部委員長 横田和浩
電話 023-653-6121 FAX 023-653-6188
メール syokoak@pref-yamagata.ed.jp

※原本は校長の承認を得た上で、抽選会時に持参すること。

引率教員のつかない選手のための申し込みは受け付けない。

17. 抽選会 **日時 令和3年10月21日(木) 13:00より**

会場 山形県立天童高等学校

天童市大字山元850 電話 023-653-6121 FAX 023-653-6188

※欠席の場合は山形県高等学校体育連盟連空手道専門部に一任したものと
する。

18. その他 本大会は、第41回全国高等学校空手道選抜大会の山形県予選会及び第35回東北高等学校空手道選抜大会の予選会を兼ねるが、最終決定は理事会において決定する。

(参 考)

<申し合わせ事項>

1. 団体戦・個人戦共に**次年度開催の県高校総体のシード決め**を行う。
2. リーグ戦(予選・決勝)について申し合わせ事項
 - ①予選リーグでは勝敗を必ず決める。(代表戦を行う)
 - ②勝率が同じであれば勝者数の人数で勝敗を決める。
 - ③②が同じであれば勝率勝者数のポイント数で勝敗を決める。
 - ④6チーム以上の予選リーグでは、勝敗が決まっても大将戦まで行う。
 - ⑤3・4・5チームで決勝リーグを実施する場合は大将戦まで行う。
 - ⑥予選リーグの試合時間は1分30秒とし8ポイント差とする。
 - ⑦決勝リーグの試合時間は2分とし8ポイント差とする。
3. 決勝トーナメントについて申し合わせ事項
 - ①リーグ戦の結果、各リーグの上位2チームが決勝トーナメントに進出する。
 - ②各リーグの1位と2位を別ブロックにする。
 - ③決勝トーナメントでは勝敗が決まった時点で終了とする。
 - ④決勝トーナメントの試合時間は2分とし8ポイント差とする。
4. 全国選抜大会が共催・又は開催地区の場合は個人戦において第5代代表戦を実施する。